

クラス番号	904	ゼミタイプ	サービスラーニング型（コミュニティ）
		担当教員名	部田かね代
テーマ	半田市内にある NPO 法人ひだまりをフィールドにして行政や社会福祉協議会との協働事業、地域住民や多様な社会福祉法人等との他職種・他機関連携を考える。		

ゼミナール概要

目的、内容、方法等：

- ①電話やメール等でのやり取りや訪問時の対応等関係者との連絡調整を通じて、次年度以降の実習・就活に向けて社会人としての基本的なマナーを身に付ける。
- ②行政・地域住民（コミュニティ）・NPO・社会福祉協議会等それぞれの視点からの役割について学び、地域課題を見つけ解決の方策を講じる。

内容方法等

- ①ひだまりが運営するワンルームマンションの居住者（健常者・勤労学生・障がい者・高齢者等）、デイサービスや喫茶・各種教室の利用者の生活歴を把握しその背景を理解するとともに併設の相談コーナーや認知症カフェを通じて行政・社協・NPO・自治区等関係者との交流の機会を得て就活に役立てるとともに今の自分達がどのように関わっていけるかを検討し実践する。

授業計画

<前期>

- ①ひだまりの活動内容について理解する。（ゲスト講師の招へい）
- ②高齢者・障がい者・認知症・生活困窮者等について理解する。
- ③ひだまりの活動に関わっている関係機関について理解する。
- ④半田市並びにひだまりの現状について学び課題の抽出をする。
- ⑤グループ分けと活動先（事業所）について調べ課題解決の為の見立てをする。
- ⑥活動日・活動内容等について活動先の担当者と調整を行い了承を得る。
- ⑦活動の為に必要と思われる事前調査や準備をする。

<夏休み>

- ①グループ毎に活動に参加（5日間程度）

<後期>

- ①活動の振り返りと報告会に向けての資料作り
- ②研究課題の決定とグループ作り。
- ③一年間のまとめと成果発表。

担当教員からのメッセージ

活動を通じて、支援者・被支援者双方の視点から見る事により学生の立場で今どのような提案・実践・支援が出来るかを考えていきましょう。

また、活動中にひだまりと連携する行政・社協・特養・社会福祉法人・NPO 団体職員との交流を通じて、ひだまりの活動以外の知識を得て自身の今後の進路を考える機会を得ましょう。

今までのゼミ生の中には、給与や待遇・仕事内容・就活のアドバイス等を率直に尋ねて就職に繋げ、卒業後はひだまりの活動を仕事を通じて支えてくれている人達もいます。